
~ IS ~ 雨弓と雷光

カトウハジメ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

～IS～雨弓と雷光

【Nコード】

N0546BA

【作者名】

カトウハジメ

【あらすじ】

女しか使えないはずのISを使える主人公（男の娘）は、親を殺したIS委員会に復讐するためにIS学園に潜入する。その筈が主人公（唐変木）はハーレムをつくってしまう。

注 作者の処女作ですので何か不満があったら教えて下さると嬉しいです。

ハジマリ

僕が家に帰ると、家の中に数人の見慣れない男がいた。何か両親ともめていたが、どうせいつものやつだろう。僕の親はISの開発をしている。しかし国の研究所に勤めているわけではなく、技術を売っている。今はドイツのIS開発をしている。四年前まではフランスにいた。

「コアの解析が出来たならこっちによこせ！」

「そんな噂、本当な訳が無いじゃないか！」

「お前らが渡さないなら力づくでも渡してもらおうぞ！」
早く行かなきゃ！父さんと母さんが危ない！

パンパンッ

僕が家に入ったときにはもう遅かった。

父さんと母さんは頭から血を流していた……

「う、うわああああああああああああ
父さんと母さんが……」

次の瞬間、僕はISを纏っていた。二機のISを……
気づかないうちに僕は全身の刃を奴らに向かって飛ばしていた。奴らの半分ぐらいは倒しただろうか。次に僕は全身の銃を奴らに対して放っていた。威力が強すぎたのか家ごと吹きとんだ。

僕は気が付いたらISを解除していた。この後直ぐに警察が駆けつけた。僕の両親と奴らは全員死んでいた。僕は警察の人に、家が崩れているのを見て固まってしまったのだろつと言われた。奴らはIS委員会の人らしい。僕は両親の友達のIS開発の人に預けられる事になった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0546ba/>

～ IS ～ 雨弓と雷光

2012年1月1日02時46分発行